

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立栗原中学校	校長	井上 一男	担当者名	坂本 篤宏
-----	-----------	----	-------	------	-------

取組事例名 『主体性と規範意識の育成』

○	生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	主体的な活動を通した絆づくり
---	----------------	----------------------------------	----------------

取組における育てたい資質・能力

主体性・規範意識

取組のねらい

- 教育相談委員会と生徒指導部会を定例化させ，教職員及びSCとSSWの連携を密にし，チーム学校としての指導体制を確立させる。
- 生徒会執行部による定例会を行い，生徒自ら学校の課題を考える場を設ける。また，委員会活動を通して，課題解決に向けた取組を考え，実践することで，生徒の主体性や規範意識の向上につなげる。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

○教育相談委員会の定例化（毎週木曜日）

- ・参加メンバー→管理職，生徒指導主事，学年教育相談担当者，養護教諭，SC，SSW
- ・情報の共有化→生徒の状況把握や取組の方向性を検討。
- ・SC，SSWとの連携・協働体制の構築
→特定の教職員による抱え込みがないよう，SCやSSWの助言を受け，組織的に対応している。

教育相談委員会での情報共有

- ・個別の状況を一週間ごとに記録し，生徒の状況把握ができるようにしている。

日	時	議題	出席者	欠席者	出席率	議題	議題	議題	議題
1									
2									
3									
4									
5									
6									

【記録表】

○生徒指導部会の定例化（毎月第3水曜日）

- ・指導方針等の共通理解及び見直し
→学校の実態に応じた生徒会活動の進め方を検討。

委員会活動の流れ

- ①生徒指導部会⇒学校の実態把握 ←
- ↓ 【Action】
- ②生徒会定例会⇒生活目標の設定
↓ 【Plan】
- ③委員会⇒取組内容の決定・実践
↓ 【Do】
- ④生徒会担当者⇒取組内容の評価
【Check】



【各委員会の掲示物】



【生徒会定例会の様子】

取組の成果と課題

	令和元年度	令和2年度	前年比
SSWによる支援件数（件）	15	29	+14
SCの助言による関係機関との連携（件）	1	5	+4
生徒アンケート（主体性・規範意識にかかわる項目）			
日頃の活動や行事で主体的・協力的に行動できています。	87.4%	84.3%	3.1%↓
自分たちの力で決まりを守り，活動しています。	87.4%	81.8%	5.6%↓

- 教育相談委員会では支援方法等を検討し，特定の教員による抱え込みがなくなるよう組織的に対応した。
- SSWの介入により，福祉機関と保護者をつなぐことができ，適切な支援を行うことができた。
- SCの助言のもと，関係機関や保護者と連携を行い，生徒への支援につなげることができた。
- 生徒アンケートは，肯定的な回答が8割を超えているが，昨年度と比較し減少した。今後も生徒会活動の活性化に取り組み，生徒の主体的な活動になるよう工夫していくことが必要である。